

「第6回 星空案内人の集い & JAAA ミーティング 2014」

—地域での天文活動と古からの天文の系譜— (第4報)



毎回、ゆるく、気楽に、時に熱く、天体観望の情報・意見・ノウハウの交換と交流の場として開催してきた今年6回目の「星空案内人の集い」と、国立天文台を飛び出して4回名の総会を迎える日本天文愛好者連絡会 (JAAA: Japan Amateur Astronomers Association) の「JAAA ミーティング 2014」を、同時開催します。

栃木県大田原市のふれあいの丘にあるシャトー・エスポワールを会場にして、第一部の特別講演では、国立天文台の先生方による国際天文連合 (IAU) と国立天文台の取り組み、その活動と系外惑星の命名における天文同好会との連携に関するお話を、第三部はふれあいの丘にある天文館を借り切ったの見学&観望会、第四部は一般の方の参加も可能な公開特別講演として星の和名とその歴史について研究をされている北尾氏、アイヌの星について研究及び伝承を進めている山内氏の講演を行います。活動・研究発表会、ポスター展示では、天文愛好者・天文団体だけでなく中学生・高校生・大学生の各種観測報告や天文活動など幅広く天文・宇宙科学に関する発表も募集しています。天体写真や資料の掲示・配布、機材展示も可能です。「ナンデモ市」も企画していますので天文・科学関係でお売りできる物がありましたらお持ち寄り下さい。皆様の参加をお待ちしています。

- 会期:平成 26 年 6 月 28 (土)、29 日 (日)
- 会場:大田原市ふれあいの丘シャトー・エスポワール
栃木県大田原市福原 1411-22 Tel:0287-28-3131



- 主な内容 (詳細は別紙プログラム、JAAA ホームページ参照)
<初日、6月28日 (受付開始 1:15)>
○第一部 (研修室C)



★特別講演 1 「国際的アウトリーチ活動と新たな星の命名」 (簡単な通訳あり)

- 1-1) IAU/OAO と国立天文台の取り組み 国立天文台 天文情報センター普及室長 縣 秀彦氏
- 1-2) 国際光年 2015 への IAU の取り込みと系外惑星の命名について 国立天文台 シーロンチェン Sze-leung Cheung氏
- 1-3) UNAWE と IAU の活動についての紹介 ライデン大学/IAU ペドロ・ラッソ Pedro Russo氏

- ★JAAA 総会
- ★活動・研究発表会 (6件)
- ★ポスターセッション・機材等展示 (募集中)



<活動・研究発表会の主な内容>
長久保赤水と宇宙を覗く、天体観望ノウハウ、「天文愛好者」VS「天文素人」その永遠の対立について、伝統的七夕、大学と地域と地元アマチュアの天文現象での連携事例、LDEE & LIME 月面発光現象観測、ほか

- 第二部 懇親会
- 第三部 ふれあいの丘天文館 2 時間占有見学 (雨天曇天時中止)
<二日目、6月29日>

- 第四部 (多目的ホール)

- ★JAAA 総会報告 ★活動・研究発表 (2件)

★10:00<公開特別講演「失われ行く日本の星をつなぐ現代の語り部」>

※公開特別講演は一般の方の参加も可能です、直接会場受付にお越し下さい (無料)。

- 特別講演 2 「わめいのほし」 (公財)大阪科学振興協会 中之島科学研究所 北尾浩一氏
- 特別講演 3 「アイヌの星座」 Astro Ninja Projects 山内銘宮子氏

- 参加費: 宿泊懇親会 (二食付) まで参加 13,000 円、懇親会まで参加 (宿泊なし) 7,500 円、講演会・活動・研修発表会まで参加 2,500 円、高校生以下 500 円 (宿泊費等については個別にご相談下さい。)

- 参加申し込み、問い合わせ先 (詳細は別紙参加申込書、JAAA ホームページ参照)

天文サークル星空の会 吉田 裕 (実行委員長) eメール: hiro-orion@vivid.ocn.ne.jp

※参加申し込みは、6月7日 (土) までにお願いします (キャンセルは6月21日 13時までにお願いします)。

- 主催: JAAA2014 実行委員会 (天文サークル星空の会 (福島県)、日本天文愛好者連絡会 (JAAA) ☆ <http://c-moon.s3.xrea.com/jaaa/>)
- 協力: 大田原市ふれあいの丘天文館、福島県天文協会、すばる天文同好会 (高萩)、白河天文同好会 ●後援: 日本天文協議会 [(公社) 日本天文学会、自然科学研究機構国立天文台、宇宙航空研究開発機構、天文教育普及研究会、日本プラネタリウム協議会、日本公開天文台協会、星空を守る会、JAAA]

「第6回星空案内人の集い&JAAA2014—地域での天文活動と古からの天文の系譜—」プログラム(第4報)

改訂 2014May22

平成 26 年 6 月 28 (土)、29 日 (日)

大田原市ふれあいの丘シャトー・エスポワール

○メイン会場

< 1 日目 (6 月 28 日) >

●第一部 (2F 研修室C)

[総合司会: 吉田裕・友田(和)]

13 時 15 分: 受付開始

13 時 45 分: 開会式

主催者挨拶 (5 分×2): 星空案内人の集い&JAAA2014 実行委員長・天文サークル星空の会 吉田裕、
日本天文愛好者連絡会 (JAAA) コンタクトパーソン 藤由嘉昭

開催地代表挨拶 (10 分): 大田原市教育委員会 教育長 新江 侃 (あらえ つよし)

14 時 05 分: 日本天文愛好者連絡会 (JAAA) 総会

[司会: 茶木恵子]

2013 年度 JAAA 活動報告、2014 年度 JAAA 活動と世界天文イベント、
日本天文協議会報告と IYL2015 への提案、JAAA-ML サービス移行報告、
JAAA2018 までの開催予定と候補地について (JAAA2015 京都大学 H27 年 6 月 27 日・28 日)、
スタッフの任期と交代について

14 時 40 分: 休憩

14 時 50 分: 特別講演 1 「国際的アウトリーチ活動と新たなる星の命名」

(90 分+総合質疑 10 分: 簡易通訳あり、広報・通訳 国立天文台 青木真紀子)

1-1) IAU/OAO と国立天文台の取り組み

国立天文台 天文情報センター普及室長 縣 秀彦

1-2) 国際光年 2015 (International Year of Light 2015) への IAU の取り組みと

系外惑星の命名について

国立天文台 Sze-Ieung Cheung (シーロン・チャン)

1-3) UNAWAVE と IAU の活動についての紹介

ライデン大学/IAU Pedro Russo (ペドロ・ルッソ)

※IAU (国際天文連合): The International Astronomical Union, OAO: IAU Office for Astronomy Outreach

16 時 30 分: 休憩&ポスターセッション (1F 研修室A ※ポスター・機材等展示者が説明をします)

17 時 20 分: 活動・研究発表 (10 分×6 組)

①最近の活動状況の報告

夢集団星とロマンを語る会・塩谷支部 小原宏明

②天体観望ノウハウ

関東天文協会 田中千秋

③「天文愛好者」VS「天文素人」その永遠の対立について

仙台天文同好会 比嘉義裕

④「伝統的七夕」

こども達に星を観せる会・理カフェ・京都花山星空ネットワーク 茶木恵子

⑤ (調整中: 地域連携スキルを生かした大学と東北地域の 2012 金環日食連携関連)

藤原佳子

⑥LDEE&LIME—アマチュア視点からのアプローチ (仮)

天文生活 友田 哲

18 時 25 分: 注意事項説明・休憩 (宿泊する方は部屋に荷物を移動して下さい。)

●第二部 (1F 多目的ホール)

19 時 00 分: 懇親会

※ふれあいの丘天文館紹介動画上映: 「公開天文台の作り方」ふれあいの丘天文館 梁島隆

●第三部

21 時 00 分: ふれあいの丘天文館天文館 2 時間占有見学 (雨天曇天時は中止になります)

<http://www.fureai-tenmonkan.jp/index.html>

※敬称略

<2日目(6月29日)>

[総合司会:吉田裕・友田哲]

●第四部(1F多目的ホール)

8時30分:日本天文愛好者連絡会(JAAA)総会報告

[司会:茶木恵子]

※総会での検討事項に対する意見(アンケート集計)のまとめとそれを受けての今後の方針について

9時00分:活動・研究発表(15分×2組)

⑦江戸時代の地理・天文学者「長久保赤水と宇宙を覗く(仮)」すばる天文同好会(高萩市)川口和彦

⑧(調整中)

浜野和天文台 浜野和博巳

9時30分:休憩&展示(1F研修室A)

10時00分:特別講演(一般公開講演)「失われ行く日本の星をつなぐ現代の語り部」

・10時00分:講演2「わめいのほし」(講演50分、質疑10分)

公益財団法人 大阪科学振興協会 中之島科学研究所 北尾 浩一

・11時00分:講演3「アイヌの星座」(講演50分、質疑10分)

Astro Ninja Projects 山内 銘宮子

12時:閉会式・解散

○サブ会場(1F研修室A)

<6月28日14時~29日12時>

資料、写真、ポスター、自作機材展示、メーカー展示、ナンデモ市会場 **【募集中!】**

※各自、ご自身で展示をしていただけますようお願いいたします。

●ポスター展示

①国際光年、IAU/OAOほか(講演でお話する内容に関する各プロジェクト等の紹介) 国立天文台

②「天文愛好者」VS「天文素人」その永遠の対立について

仙台天文同好会 比嘉義裕

③LIMEプロジェクト(1)「LIMEプロジェクトと月の観察」

天文生活 友田晴・友田哲

④LIMEプロジェクト(2)「(調整中)」

天文生活 友田 哲

⑤こども星見隊の活動

⑥神津牧場天文台のご案内

⑦鴨川市に天文台をつくろう会のご案内

関東天文協会 田中千秋

⑧「伝統的七夕ライトダウンキャンペーン2014」ほか

こども達に星を観せる会・理カフェ・京都花山星空ネットワーク 茶木恵子

⑨(調整中)

藤原佳子

⑩報告:2012年5月21日の金環日食調査から

日食調査ワーキンググループ(天文教育普及研究会)

⑪世界一斉天文イベントの報告及び紹介

ACJ世界一斉天文イベントWG 藤由嘉昭

●機材等展示

①自作観測機材

ふれあいの丘天文館 梁島 隆

②長久保赤水の復元観測機材

すばる天文同好会(高萩) 川口和彦

③新作双眼望遠鏡

双眼望遠鏡のコンタクト(群馬)

④自作観測機材

すばる天文同好会(高萩) 笹山友和

⑤カメラ三脚+カメラ+防滴フィルター+バッテリー

仙台天文同好会 比嘉義裕

●天文写真展示

①井深 剛

②新井智幸

③茶木恵子

④米田 晃

⑤吉田 裕

●ナンデモ市(時間調整中)

①自作用部品 田中千秋

②ポストカード 山内銘宮子氏

③望遠鏡パーツ類 友田哲

○ふれあいの丘天文館の施設見学は28、29日のみ参加証を提示すれば無料で入館出来ます。



特別公開講演

「失われ行く日本の星をつなぐ現代の語り部」

2014年6月29日〈日〉10:00~12:00

大田原市ふれあいの丘シャトー・エスポワール1階 多目的ホール

古来、人々は星の動きにより季節の移り変わりを知り、農作業や漁の標（しるべ）としたり、またその位置や今回、各地に残る高度をみることで旅の目安としたりと、生活に欠かせないとても重要な存在でした。現在、わたしたちが普段使っている星座や星の名前は、ギリシャ神話に基づいたものが大半ですが、日本にも大陸（中国・韓国や東南アジア地域）由来の星名や星にまつわる説話、また日本独自のそれらがまだ各地に残されています。しかし、それらは現在急速に失われつつあります。今回は、日本各地に残る星の名前や伝承を研究、記録されている、お二人にお話をさせていただきます。是非、大勢の皆様にご参加いただけるよう、ご案内申し上げます。



- 主催：天文サークル星空の会、日本天文愛好者連絡会（JAAA）
- 協力：ふれあいの丘天文館、福島県天文協会、すばる天文同好会（高萩市）、白河天文同好会
- 後援：日本天文協議会〔(公社)日本天文学会, 自然科学研究機構国立天文台, 宇宙航空研究開発機構, 天文教育普及研究会, 日本プラネタリウム協議会, 日本公開天文台協会, 星空を守る会, JAAA〕

※一般公開講演のため「参加費」無料です、当日シャトー・エスポワール1階多目的ホールにお越し下さい。
※1階研修室Aにて「第6回星空案内人の集い&JAAA2014」参加者による天文写真展等も開催しています。

「わめいのほし（和名の星）」

酒榊星、ミタラシボシ、紀州のみかん星、酔いどれ星など、暮らしのなかで様々な和名が生まれました。もちろん、スバルも和名です。実際は、スバルよりもスマルを広く記録することができます。スバルのグループの南限と、群れ星の分布も探ります。

真珠星は、古くから伝えられている和名ではない！ 平家星はベテルギウスではない、野尻先生の却下した和名「さむらいぼし」の謎、星の俚謡の世界、星の和名は、2014年においても記録できる！

21世紀になってからも、野尻先生の本に掲載されていなかった和名が記録できる、和名は、東京都内で記録できる、昭和20年代生まれの人も和名を伝えている、物語は語る人によって多様で豊かに変化していく…等、和名にまつわる意外な話を通して、暮らしと星が近かった時代へタイムスリップしませんか。

北尾 浩一（きたお こういち）氏

兵庫県在住、公益財団法人大阪科学振興協会 中之島科学研究所 研究員、東亜天文学会会員。
日本各地を、日本古来の星名伝承、俚謡を訪ねて歩いている。
著書、「ふるさと星物語」「星と生きる 天文民俗学の試み」「天文民俗学序説」等多数あり。
HP:「星・人・暮らしの博物館」「東亜天文学会民俗課」

「アイヌの星座」

山内 銘宮子（やまうち めぐみ）氏

東京都在住、Astro Ninja Projects 代表。
イベント等各種企画プロデュースを中心に活動すると共に、2010年10月より半年間行われた、国立天文台7期科学プロデューサー要請コース受講をきっかけに、天文宇宙業界に関わるようになり、北海道を訪れ際、深く関わることになったアイヌ民族の星座の紹介活動を行っている。
HP:「Astro Ninja Projects」

「第6回星空案内人の集い&JAAAミーティング2014」参加申し込み書（申込日： 月 日）

●氏名

※18歳以下の方は、必ず一緒に参加する保護者の氏名を()で明記し、本人の年齢か学年も余白に明記して下さい。中学生・高校生で保護者が送迎のみを行う場合は、通信欄にそのことを記載して下さい。小学生以下の一人での参加は受け付けていません。

●住所

●所属

●メールアドレス（出来ましたら携帯アドレスもお願いいたします）

●連絡先（携帯番号）

●性別（部屋割りの関係のため）

●いずれかの参加形態に丸を付けてください。

宿泊（発表等・懇親会参加：13,000円）

懇親会まで参加（宿泊なし：7,500円）

講演、活動、研究発表会のみ（2,500円）

高校生以下（宿泊・懇親会なし：500円）

※無料送迎バス利用は事前予約になります→バス利用の希望：（希望する・希望しない）

無料バス発着時間（乗車場所に○をして下さい）：JR 那須塩原駅 12：30 / 高速バス「ホウライバス停」 12：20

※個室や家族同室を希望される方は最後の通信欄にてご連絡ください。その場合、参加費が変わりますのでご注意ください。（変更後の参加費は後日ご案内いたします。）

●研究・活動報告1コマ10分（発表者数により変動） ~~あり~~ ・ ~~なし~~

※発表される方 ~~発表タイトル：—~~ 【発表数に達したため、口頭発表は締め切りました。】

●ポスター展示、あり ・ なし

※展示される方 展示タイトル：

●自作機材展示、あり ・ なし

●写真展示、Aサイズ5点まで、あり ・ なし

*展示写真は統一感を出すためできれば黒のアルミ額でお願いします。

●ナンデモ市への出品、あり ・ なし

※出品される方 商品概要：

●通信欄